

6/26 五夜

エヌ番組

マイナンバーカードのトラブルが相次いでいる問題について、25日のNHK「日曜討論」で与野党が意見を交わす中で、日本維新の会・国民民主党の政策担当者は「混乱が予想できた」「わざわざは困難」など、問題点を認識しながら、法案に賛成した責任について触れませんでした。維新の小野泰輔・政調副会長は、マイナカードへの健康保険証などのひも付けについて、「どういったのが

マイナ保険証で維新・国民問題あっても法案賛成

非常に困難な作業だったとそもそも思う」「(一)の世界は論理的構造を守らないと火を噴いてしまう」と発言しました。

国民の大塚耕平政調

会長は、個人の共通番号が先にあった欧米と、バラバラな制度をマイナンバーで共通化した日本との違いを認識する必要があるとして、「クロセスが逆なので、これが混乱が起きるかはどの程度想定できるか」と述べました。

来年秋に健康保険証を廃止するスケジュールについて、日本共産党中央の田村智子・政策委員長は撤回・中止を求めましたが、小野氏はあたが、小野氏は「このスケジュールで総理が検証し、デジタル化を進める」と宣言した。

維新・國田直哉は、マイナンバーがめぐらしあした。